



# グリーンカラーWエポ速乾プライマー

強化コンクリート面や磁器タイル面などの付着し難い素材や幅広い既存塗膜に対応可能な高性能水性プライマー

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
鉛・クロムフリー	

## 特長

### ① 各種下地への付着性

一般コンクリート・モルタルだけでなく、機械押えされた緻密仕上げのコンクリート、強化コンクリート、磁器タイルに対してもすぐれた付着力を発揮します。

### ② 幅広い塗り替え適性

各種塗膜との付着性にすぐれ、塗り替え用途にも適しています。

### ③ 水性速乾タイプ

水性塗料ですが乾燥が早く、冬場の施工にも安心です。

### ④ 環境配慮

水性塗料なので臭気が少なく、鉛・クロムを一切配合していません。また、「厚生労働省による室内濃度環境指針13品目」も含まない、安全性が高く、環境にもやさしい塗料です。



※上塗り塗装終了後の様子

## 用途

新設・改修など各種床面※の下塗り ※適用床面につきましては、適用下地および既存塗膜との付着性をご参照ください。

### 適用下地

素材の種類	付着性
コンクリート・モルタル	○
緻密仕上げのコンクリート(機械押え)	○
強化コンクリート	○
陶磁器質床タイル ※1 I類(磁器質) II類(せつ器質) III類(陶器質) 施釉・無釉	○
鋼板	×
既設密粒アスファルト	○※2
新設(密粒・開粒)アスファルト 既設開粒アスファルト	×

※1 磁器タイルは種類により付着しないものがあるため、不明な場合は事前にテストを行い、付着性を確認してください。  
 ※2 下地が既設密粒アスファルトの場合、上塗りに溶剤系の塗料は使用しないでください。アスファルトの溶解やブリードの原因になります。  
 ※3 既存塗膜が複数回塗装されている場合や耐溶剤性が悪い場合は、上塗りに溶剤性を塗装するとリフティング(塗膜のちぎれ)を起こす場合があります。  
 ※4 既存塗膜がウレタン系の場合は、必ず表面を研磨し目粗ししてください。不足している場合は、はく離が生じる場合があります。  
 注) 下地および既存塗膜が弾性の場合は、ワレが発生するため、施工できません。  
 注) 既存塗膜の付着力が不足している場合、上塗り塗膜の硬化収縮によりはがれが起る可能性があります。  
 注) 上記以外の付着性や適用性につきましては、お問合せください。

### 既存塗膜との付着性

既存塗膜	付着性
溶剤形アクリル樹脂系床用塗料	○※3
水性アクリル樹脂系床用塗料	○※3
溶剤系エポキシ樹脂系床用塗料	○
厚膜形エポキシ樹脂系床用塗料	○
溶剤形ウレタン樹脂系床用塗料	○※4
弱溶剤形ウレタン樹脂系床用塗料	○※4
水性ウレタン樹脂系床用塗料	○※4
厚膜形ウレタン樹脂系床用塗料	×
水性硬質ウレタン樹脂系床用塗料	×

☆既存塗膜との付着性: ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマーを各種既存塗膜へ塗装できるかどうかの判断

### 上塗り塗料適用性

製品名	適用性
ニッペクリンカラーAベスト (溶剤形特殊アクリル樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーWベスト (水性特殊アクリル樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーWハードトップ (水性高硬度反応硬化形樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーEベスト (溶剤2液形エポキシ樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーEワン (ハイビルド2液形エポキシ樹脂床用塗料)	○
ニッペクリンカラーE20コテ用(新) (厚膜2液形エポキシ樹脂床用塗料)	×
ニッペクリンカラーUベスト (溶剤2液形ポリウレタン樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーUファイン (弱溶剤2液形ポリウレタン樹脂防塵床用塗料)	○
ニッペクリンカラーU水性 (水性2液形ポリウレタン樹脂床用塗料)	○
ニッペクリンカラーマークガード (屋内床用防汚性オーバーコートクリヤー塗料)	×

☆上塗り塗料適用性: ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマーへ各種上塗り塗料を塗装できるかどうかの判断

## 荷姿・塗料性状

製品名	容量	主剤/硬化剤 ※1	色相	希釈剤	1セットの標準塗り面積(1回塗り) ※2
ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー	12kgセット	6kg(半切缶)/6kg(石油缶)	主剤: 乳白色 硬化剤: 淡黄色	無希釈	75~120㎡/12kgセット 21~30㎡/3kgセット
	3kgセット	1.5kg(ポリ容器)/1.5kg(ポリ容器)			

※1 硬化剤には夏用と冬用がございます。使用目安は気温15℃以上: 夏用、気温5℃以上15℃以下: 冬用となります。 ※2 記載は新設床面使用量での数値です。

## 塗装基準

混合比(重量比)	ポットライフ ※1			塗り重ね乾燥時間 ※1		
	5℃~10℃	23℃	30℃	5℃~10℃	23℃	30℃
	硬化剤 冬用			硬化剤 夏用		
主剤: 硬化剤 = 1:1	2時間	2時間	1時間	16時間以上72時間以内 ※2	4時間以上48時間以内	3時間以上48時間以内

注) 主剤と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。(硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、成分の沈殿発生、付着性・造膜性・硬化性・乾燥性の低下など、塗膜性能や仕上がり外観に悪影響を及ぼします。)

※1 硬化剤には夏用と冬用がございます。使用目安は気温15℃以上: 夏用、気温5℃以上15℃以下: 冬用となります。

※2 ニッペクリンカラーWベスト、ニッペクリンカラーWハードトップ以外のニッペクリンカラー上塗り商品は、6時間以上72時間以内/5~10℃で塗装可能です。

# ニッペ クリンカラーWエポ速乾プライマー

## 標準塗装仕様例

【新設床面】一般コンクリート・モルタル、緻密仕上げのコンクリート、強化コンクリート、磁器タイル

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	表面のレイタンスや不純物はポリッシャーなどで完全に除去してください。ワックス処理されている場合は水性ワックス用は離剤ではなく離し、水洗いを十分に乾燥し清浄な面としてください。ごみ、ほこり、油脂類は除去し清浄な面としてください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
下塗り	ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー	1	0.10~0.16*1	4時間以上48時間以内	—	—	中毛ローラー
上塗り	上塗りは用途により、ニッペクリンカラーU水性、Aベスト、Wベスト、Wハードトップ、Uベスト、Uファイブ、Eベスト、Eワンから選択してください。						

【改修床面】各種既存塗膜

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地処理	はがれかかった既存塗膜や付着不良の既存塗膜は完全にケレン除去してください。既存塗膜がウレタン系または種類が不明の場合、研磨紙P40~P100あるいはポリッシャー(ワイヤー)にて表面を研磨し目粗ししてください。ごみ、ほこり、油脂類は除去し清浄な面としてください。表面にワックスがある場合は水性ワックス用は離剤ではなく離し、水洗いを十分に乾燥し清浄な面としてください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
下塗り	ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー	1	0.08~0.12	4時間以上48時間以内	—	—	中毛ローラー
上塗り	上塗りは用途により、ニッペクリンカラーU水性、Aベスト、Wベスト、Wハードトップ、Uベスト、Uファイブ、Eベスト、Eワンから選択してください。						

\*1 緻密仕上げのコンクリート、強化コンクリート、磁器タイルは吸込みが少ないため使用量が少なくなります。

注)新設コンクリートは、夏季3週間以上、冬季4週間以上養生させ、素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。

注)素地の吸込みがはげしい場合は、乾燥後に増し塗りをしてください。

注)下塗り後、上塗りまでの間隔が塗り重ね乾燥時間を超過した場合は、目粗しを行うかプライマーを再塗装してください。

注)具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。

●上記の各数値は、すべて標準のものですが、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

●塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

●カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定しています。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず最寄りの営業所にご相談ください。

## ■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ワックスを使用している床面は付着阻害を起しますので、ワックス用は離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- 旧塗膜が何回も塗り重ねられて層積されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜ははく離してから塗装してください。
- 旧塗膜がウレタン系の場合は、ポリッシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
- 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- 常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、ニッペクリンカラーEレンジモルタルプライマーを使用し乾燥後塗料を塗ってください。
- 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- 下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレシエンスなどの粉化物、せい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- 塗り替え時、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
- 旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- サンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2~3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- 施工に関する詳細な注意事項はクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- 本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング(縮み)防止には使用できません。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおそれる場合があります。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレシエンス、レイタンスなどは除去し、目録し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマーの硬化剤中には、顔料が配合されているため、あらかじめ電動かはん機で内容物が均等になるようにかくはんしてから主剤と混合してください。また小分けして使用する場合は必ずはかりを用いて計量、混合してください。
- 主剤と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 主剤と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。(硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、成分の沈殿発生、付着性、造膜性、硬化性、乾燥性の低下など、塗膜性能や仕上がり外観に悪影響を及ぼします。)
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉し乾燥が速くすすみますので、換気が十分に行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とすしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## ■安全衛生上の注意事項

ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー主剤		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> <li>本来の用途以外に使用しないでください。</li> <li>使用前に取扱説明書入手してください。</li> <li>すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。</li> <li>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。</li> <li>取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。</li> <li>汚染された作業衣は作業場から出さないでください。</li> <li>必要な時以外は、環境への放出を避けてください。</li> <li>保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。</li> <li>気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。</li> <li>飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。</li> <li>容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理してください。漏出物を回収してください。</li> <li>皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。</li> <li>吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> <li>眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していても容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。</li> <li>はくばりまたはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>皮膚刺激を生じた場合: 医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>眼の刺激が続く場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。</li> <li>施設にて保管してください。</li> <li>直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下し十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)</li> <li>塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。</li> <li>日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。</li> <li>内容物/容器を固/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li> <li>塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。</li> </ol>	
<p>警告</p>	<p>危険有害性情報</p>	<p>皮膚刺激/アレルギー性皮膚反応を起すおそれ/強い眼刺激/吸入すると有害/遺伝性疾患のおそれの疑い/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性</p>

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608  
 東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180  
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861  
 中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- © Copyright 2019 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス  
<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

日本ペイント 建物 検索

カタログNo.  
NP-X115

AA191105T  
2019年11月現在